

掃部山公園に立つ井伊直弼の銅像が建立されて110年。開港の立役者である大老井伊直弼は、あまり知られていませんが、優れた文人でもあり、能・狂言も作っています。掃部山公園内にあ  
る横浜能楽堂では、かつて直弼が生涯1曲だけ  
残した能「筑摩江」を百数十年の時を経て、平成  
19年に初演しました。今回は、神奈川県立歴史博  
物館で開催される「掃部山銅像建立110年  
井伊直弼と横浜」に合わせ、能「筑摩江」と、同じ  
く直弼が作り、彦根藩お抱えの狂言方であった茂  
山千五郎家に与えた狂言「鬼ヶ宿」を上演します。

# 井伊直弼の作った 能と狂言



能「筑摩江」

(喜多流)

狂言「鬼ヶ宿」

(大蔵流)

# 能と狂言

# 井伊直弼の作った

横浜能楽堂・神奈川県立歴史博物館提携企画公演

令和2年2月29日《土》

午後2時開演(午後1時開場)

横浜能楽堂

◆狂言「鬼ヶ宿」(大蔵流) 茂山千五郎

◆能「筑摩江」(喜多流) 出雲康雅

チケット料金: S席 6,000円/A席 5,000円  
B席 4,000円

チケット発売: 令和元年11月9日《土》

正午から(初日は電話・WEBのみ)

※電話予約開始日にチケットが売り切れた場合、窓口での販売はありません

お申込み・お問合せ: 横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

電話 045-263-3055 Web <http://ynt.yafjp.org/>

主催: 横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



【横浜能楽堂・神奈川県立歴史博物館提携企画公演】

# 井伊直弼の作った能と狂言

令和2年2月29日《土》午後2時開演(午後1時開場) 横浜能楽堂

番組

狂言「鬼ヶ宿」(大蔵流)

シテ(太郎) 茂山千五郎  
アド(女) 茂山 茂  
後見 島田 洋海

能「筑摩江」(喜多流)

シテ(筑摩神社ノ神巫・御食津ノ神) 出雲 康雅  
前ツレ(筑摩神社ノ神巫) 高林 呻二  
後ツレ(大歳ノ神) 粟谷 充雄  
後ツレ(宇賀稻倉魂ノ神) 粟谷 浩之  
ワキ(当今ノ臣下) 大日方 寛  
ワキツレ(臣下ノ従者) 高井 松男  
ワキツレ(臣下ノ従者) 梅村 昌功  
アイ(神職) 茂山千五郎  
アドアイ(女) 茂山 茂  
アドアイ(女立衆) 島田 洋海  
アドアイ(女立衆) 井口 竜也  
笛 松田 弘之  
小鼓 鶴澤洋太郎  
大鼓 柿原 弘和  
太鼓 林 雄一郎  
後見 高林白牛口二  
狩野 了一

地謡 中村 邦生 長島 茂  
金子敬一郎 内田 成信  
大島 輝久 塩津 圭介  
佐藤 寛泰 佐藤 陽

出演者プロフィール



出雲康雅 (いずも やすまさ)

シテ方喜多流。1947年、出雲恒一の次男として生まれる。父および十五世宗家・喜多実に師事。張りがあり、よく透る声が魅力。広島・東京・横浜など各地で能楽の普及と発展に貢献している。1990年、厳島神社での演能を取り仕切る厳島神社能執事に就任。重要無形文化財総合認定保持者。



茂山千五郎 (しげやませんごろう)

狂言方大蔵流。1972年五世茂山千作の長男として生まれる。父および祖父四世茂山千作、曾祖父三世茂山千作に師事。狂言の魅力を保ち、企画製作として演出までを自分たちで行う公演の開催など、狂言の普及に力を注ぐ。2005年文化庁芸術祭新人賞、08年京都府文化賞奨励賞など受賞。重要無形文化財総合認定保持者。

曲目解説



撮影:桂秀也

狂言「鬼ヶ宿」(おにがやど)

太郎は最近疎遠になっていた安達ヶ原の女のことが気になり、女の家を訪ねます。すでに太郎に愛想を尽かしている女は、早々に追い返そうと考えます。女は、太郎が酒を所望したのをいいことに「家にはないので、里離れた酒屋まで行って買ってほしい」と頼み、最近この原の黒塚には夜毎、恐ろしい鬼が出るそうなので、用心するように言います。太郎が酒屋の振る舞い酒でよい気分になって戻ってくると……。

能「黒塚(安達原)」を元に作られ、井伊直弼が暗殺される数日前に、九世茂山千五郎により初演されたといわれる作品です。



撮影:神田佳明

能「筑摩江」(つくまえ)

天皇に仕える臣下が江州坂田(現在の滋賀県米原市)の筑摩明神に参詣に向かいます。彦根・千々の松原に到着した一行が景色を眺めていると、一艘の船に乗って神巫たちがやってきます。神巫は臣下を船に乗せ、見え渡る琵琶湖の景色を案内しながら筑摩神社へと向かいます。やがて筑摩神社に到着すると、神巫は臣下たちを神前へ連れてゆき、ご祭神である三柱の御神について詳しく語ります。不思議に思った臣下が神巫の正体を問うと、神巫は夜を待つように告げ、宮の内へと姿を消します。

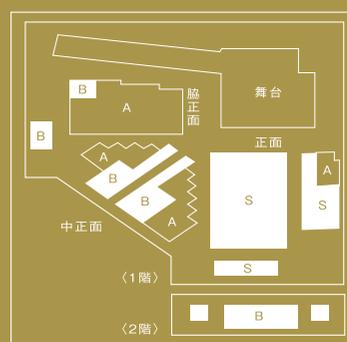
その後、神職と女達が現れ、筑摩の神の霊験を讃える鍋祭祭の様子を見せます。夜になると、土壇から光が溢れ、天照大神の分身である御食津ノ神(みけつのしん)と、大歳(おおとし)・宇賀稻倉魂(うがのみたま)二人の翁が現れます。神々は舞姿を見せ、五穀成就とめでたき御代を祝福するのです。

琵琶湖から見える名所の数々を織り込んだ謡や、日本三奇祭の一つとされる鍋祭祭の様子を見せる間狂言、三神の舞など、見どころの多い作品です。

神奈川県立歴史博物館2019年度特別展 「掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜」

会期:令和2年2月8日[土]～3月22日[日] 休館日:月曜日(2月24日は開館) 開館時間:9時半～17時(入館は16時半まで) 会場:神奈川県立歴史博物館 1階特別展示室・コレクション展示室  
入場料:一般 900(800)円/20歳未満・学生 600(500)円/65歳以上 200(150)円/高校生 100円/中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料

※( )内は20名以上の団体料金 ※「井伊直弼の作った能と狂言」公演チケットまたは半券券博物館受付にてご提示ください。団体料金でご入場いただけます。



横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2 電話:045-263-3055

- 【電車】・JR根岸線「桜木町」駅下車北改札より徒歩15分
- ・市営地下鉄「桜木町」駅南1出口徒歩15分
- ・みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分
- ・京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分 \*タクシー利用は各駅とも約5分
- 【バス】・戸部1丁目(市営バス103、292系統)下車徒歩5分
- ・紅葉坂(市営バス8、26、58、101、105、106系統・神奈中バス横43、横44、港61系統・江ノ電バス大船駅行、栗木行・京急バス110系統)下車徒歩10分

※駐車場はございませんので、ご来場の際は電車・バスをご利用下さい。  
※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※会場への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。  
※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。  
※公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。